

「環境試料の多環芳香族炭化水素分析講習会」のご案内

目的

PM_{2.5}や流出油には種々の多環芳香族炭化水素（PAH）が含まれ、その中にはベンゾ[a]ピレンなど、発がん性/変異原性をはじめとする健康に影響を及ぼす作用をもつものが少なくありません。このため環境試料中のPAH類の分析の重要性が増し、我が国でも環境基準や指針値の必要性が議論されています。そこで金沢大学環日本海域環境研究センターでは、環境試料のPAHの分析方法について、初心者を対象に環境中のPAHの概論（講義）及び捕集から前処理、機器分析及び定量までの操作法（実技）を学ぶ講習会を下記の要領で開催します。

日 時： 令和5年5月15日（月）午前9時～午後4時（途中1時間昼食休憩）

内 容：

1. 講義：環境中のPAHの概要
2. 実技：大気試料の捕集方法の説明と実試料の前処理操作

HPLC（高速液体クロマトグラフ）での測定と定量について

定 員： 3人

参加費： 無料

参加ご希望の方は、氏名、所属を添えて下記申し込み先まで連絡ください。定員になり次第締め切ります。

申し込み先： 金沢大学環日本海域環境研究センター（唐寧）

電話： 076-234-4455、 メール： n_tang@staff.kanazawa-u.ac.jp